

名称	中型振動台試験装置																	
概要	<p>本装置では主として盛土、擁壁、橋台、補強土などの模型（10分の1スケール）を対象とした振動実験を行ない、その結果を基に土構造物の耐震性評価、地震対策工法（地盤の補強方法や地盤改良方法）の効果などを検討しています。またせん断土槽を用い、地震時の地盤の動的な強度・変形特性、地盤内の波動伝播特性などの検討も行なっています。</p>																	
特徴・諸元	<p>正弦波のような規則波、および実際の地震波のような不規則波での加振が可能であり、1995年の兵庫県南部地震クラスの大地震動も再現することが可能です。計測システムに関しては、64chの動ひずみアンプにより地盤の応答加速度や変位、構造物に作用する外力などを最大1000Hzで同時サンプリング可能です。また土槽側面（強化ガラス）を通して模型の変形状況が観察でき、高速度CCDカメラを用いた画像解析により模型地盤内の2次元的な変位も計測可能です。</p> <p>◆ 主要諸元</p> <table border="1" data-bbox="331 651 1086 958"> <tr> <td>〔加振方向〕</td> <td>水平1方向</td> </tr> <tr> <td>〔最大加速度〕</td> <td>1.0G (1000gal)</td> </tr> <tr> <td>〔最大速度〕</td> <td>70cm/s</td> </tr> <tr> <td>〔最大振幅〕</td> <td>±200mm</td> </tr> <tr> <td>〔加振周波数〕</td> <td>1Hz～25Hz</td> </tr> <tr> <td>〔制御波形〕</td> <td>正弦波、不規則波</td> </tr> <tr> <td>〔負荷重量〕</td> <td>最大50kN</td> </tr> <tr> <td>〔土槽の大きさ〕</td> <td>幅2.05m、高さ1.4m、奥行き1.1m</td> </tr> </table>		〔加振方向〕	水平1方向	〔最大加速度〕	1.0G (1000gal)	〔最大速度〕	70cm/s	〔最大振幅〕	±200mm	〔加振周波数〕	1Hz～25Hz	〔制御波形〕	正弦波、不規則波	〔負荷重量〕	最大50kN	〔土槽の大きさ〕	幅2.05m、高さ1.4m、奥行き1.1m
〔加振方向〕	水平1方向																	
〔最大加速度〕	1.0G (1000gal)																	
〔最大速度〕	70cm/s																	
〔最大振幅〕	±200mm																	
〔加振周波数〕	1Hz～25Hz																	
〔制御波形〕	正弦波、不規則波																	
〔負荷重量〕	最大50kN																	
〔土槽の大きさ〕	幅2.05m、高さ1.4m、奥行き1.1m																	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">振動実験後の模型の破壊状況 （擁壁の地震時安定性に関する振動台実験）</p>																	
担当部署	構造物技術研究部 基礎・土構造																	